私の企画イベント

「道しるべに沿って」・・・東京の「歴史と文化の散歩道」を1,000km目指して歩いています。

東京の街のあちこちに沢山の「道しるべ」が設置されているのをご存知ですか？　昭和の終り頃から平成の2～3年頃、東京都が区部・市部にわたって「歴史と文化の散歩道」全長240.5km、23コース(お濠端他コース～高尾八王子コースまで)を整備し、道標（約1,000本）・案内板（約100カ所）が設置されました。東京・江戸の歴史と文化を知るいくつもの手掛かりが隠されており、又新しい東京を発見するコースです。

このコースを私のイベントで平成17～19年に一巡、同19～20年に二巡目を廻り、下見と併せ三巡して750km歩いたことになり、一・二巡での参加者数は1,002名でした。この歴史と文化の散歩道の道標・案内板（御影石）は経年により表示部分の汚損や表示内容の案内文面の陳腐化が目立ち気になり、改善やフォローを東京都に申し入れました。この道標・案内板は“観光都市東京”を目指すには、なんとも恥ずかしい実態です･･･余りにもノン・クールでした。外国人もこの「歴史と文化の散歩道」を歩いてほしいもので、今後も現況や実態を東京都に訴えていく予定です。

今回、参加者から再度実施の要望をいただき、又東京都の改善内容を確認したいと、秋号より三巡目のチャレンジをしております。2年かかりますが、250kmプラスして、1,000kmを目指して歩いております。

「私の宝物」・・・参加者の皆さんからの“ありがとう”に感謝!

参加者の皆さんからの「ありがとう」が一番の遣り甲斐です。又参加者からのお礼や激励の「葉書」が私の宝物です。各回ハガキをいただきますが、苦労・努力した（手を掛けた）イベントには複数の反応をいただき、これは参加者からの評価と思い、今回は“座布団2枚!”とか“座布団3枚!”と励みにしております。

私の宝物も間もなく250通、こんなに「ありがとう」をいただき、こちらの方が参加者に感謝!感謝!です。

「心に響くイベント」を・・・イベントにプラスαやサプライズを探って!

イベントでは参加者と企画者は一期一会の出会い、心に残る何かを提供したいといつも探っております。参加費1,000円で1,000円と思われるイベントなら「下」1,500円と思われるなら「中」、なら・・・「上」は心に響くもの、金額では評価できない参加者の琴線に触れるイベントを!　こんなイベントを心がけております。

「イベント当日　天気になーれ!」・・・企画者の一番の願いです!

私のイベントは「多摩川の河口から源流へ」「三浦半島一周」などアウトドアーが主です。イベントの一週間前より天気予報から目が離せません。

イベントの成功の鍵はまず雨に降られないこと、晴れと雨とでは大変な違いだからです。

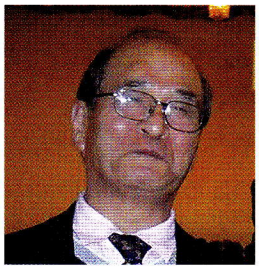
まず、イベントの実施月日を決めるのに、実施予定日の前後3日間を過去10年の日記から「晴れの確率」で決めます。それでも外れることも間々あります。そんな時は“晴れがよい天気で雨が悪い天気”は誰が決めたの!と言って雨も楽しむようにしております。（やせ我慢ですが）それでも雨でも歩きます。最後まで傘さして完歩していただきますと私の心が痛みます。・・・そんな時は参加者に“ありがとう!”の一言です。

「私のモットー」・・・いつも心がけている事

「錆びない!萎えない!無理しない!」

“（身体は）錆びない!”
“（気持ちは）萎えない!”
“（しかし）無理しない!”
今後ともよろしくお願いします。

（記　神奈川グループ
山田治男）


山田治男さん